

## 小さな喜びを育てて

大山 泰正さん (落合)



このコーナーは、市民の皆さんをリレー方式で紹介합니다。

皆さんは自分らしさを感じる瞬間とはどのような時でしょうか。私は絵を描いている時です。今回は私が熱中している「絵」について書かせていただきます。

始まりは小さな古いノートから。下敷きもやらずに毎日描き続けているうちに自分の絵に輝きを感じ、心に自信も芽生えてきたのです。描いて描いて描き続けて頭に浮かんだ姿や情景を描き出してゆく、気の遠くなるような細かさでも続きが気になって手が止まらない。楽しいのです。

最近絵を描いていると「いつか個展を開けたら・・・」と考える時があります。望みに向かって歩を進めて行くのは不安も当然ありますがそれ以上に自分の心を満たすワクワク感があるのです。

人生で巡り会った喜びを教えてくださいましたものへの感謝を忘れず今日という宝物、明日という贈り物を大切に生きていきたいと思ひます。

※次回は、三村 新太さん(富町)にタッチします。

## 広報のしろをスマホやパソコンで ご覧いただけます!



マチイロ



バックナンバー

読んでみて!

わたしの  
**押し本**

地域おこし協力隊

檜森 隆太さん

「うんこがへんないきもの」



著者：早川 いくを

絵：寺西 晃

出版年：2014年

出版者：KADOKAWA

市立図書館 所蔵あり



地獄は、成田から飛行機で行ける

私がまだ学生だった頃に発売された『へんないきもの』シリーズの一冊です。変わった特徴の生き物の中から、排せつがおかしな二十種について図解ではなく文章でまとめられています。

◎ここがおすすめ!

生き物の生態についてしっかり記述されているので、純粋に生き物が好きな方にもおすすめです。一方で著者のワードセンスが独特で読み物としても非常に面白いです。『成田から飛行機で行ける地獄』がなんなのか、気になる方はぜひ一読を。

## メッセージ from...

防災危機管理室の塚本春樹です。防災に関する業務や空き家の相談業務を担当しています。今年には日本海中部地震から40年の節目になります。甚大な被害があったことを風化させずに、心の中に防災の意識を持ち続けることが大事です。災害はいつ、どこで発生するかわかりません。被害を最小限に抑え、すぐに避難できるように万全の備えをしておきましょう。災害時の持ち物は、リュックサックに背負える範囲を目安に、日頃から準備しておきましょう。

問合せ 防災危機管理室

☎ 89・2115



問合せ 生涯学習・スポーツ振興課 ☎73-5285